

# 市民協働かわら版

No.36

発行：泉南市総合政策部政策推進課  
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一丁目  
TEL：〇七二一四八二〇〇〇四  
(平成二十九年六月七日発行)

五月二十三日(火)に平成二十九年第二回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センター2階講堂兼視聴覚室で開催され、十四名(市民十名、職員四名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】

今回のサロンは、埋蔵文化財センターに職業体験で来ていた信達中学校二年生の三名の生徒の方にもご参加いただきました。

冒頭に市役所行革・財産活用室の職員から「泉南市公共施設等最適化実施計画」が策定されたことに伴い、実施計画の概要版をもとに市内の各施設の実施計画について説明がありました。

学校施設についても説明があり、参加した中学生も興味を持って聞いていました。

その後、いつものサロンが始まり、前回取り決めた持ち回りでの座長ということで、今回の座長は区長経験もある方です。

## \*ABCまついを開催しました\*

主催：泉南市ABC委員会

昨年に続き、4月29日(土・祝)に「第19回ABCまつり」【場所：泉南市立市民体育館】を開催しました。晴天に恵まれ、例年にも増して多くの来場者で賑わいました。



和太鼓、歌やダンス、吹奏楽、阿波踊りやよさこい、途切れることなく会場内は活気溢れました。屋外では市民による出店が立ち並び、いい匂いが立ち込めます。泉南市のマスコットキャラクター「泉南熊寺郎」に子ども達も大喜び。同時開催されたゲームイベント「イングリブ」では、日本全国のみならず海外からも参加者が訪れ、街全体がイベント会場となり、多くの人で賑わう春の一日となりました。

当日のテーマと主な意見は次のとおりです。

◎埋蔵文化財センターについて

「この施設は、泉南市の施設でも非常に新しいのに、来場者が少ないのが残念。この週末に他県から見学に来ていたようだが、閉館であったので、見学できていない。土日の閉館は無理なのか。」

「この施設の建設時には、何の建物だろうと気になっていたが、建てば気にせず、通り過ぎていく。せつかくの施設なのに、活用できていない。もっとPRするべき。」

「土日の開館に向けて、市民と行政の協働でなんとかすることはできないか。」

「この施設には、重要文化財があるので、そこが心配だ。」

中学生からご年配の方まで、埋蔵文化財センターの市民参加による活用方法について、活発な意見交換が行われました。市内外問わず市民が集える場として能動的に活用できるように、みんなで考えてみました。

最後に、サロン参加者から自主的にまとめた資料の提出があり、奈良県の事例「住んでよし・働いてよし・訪れてよし」を参考に泉南市に当てはめての分析報告がありました。

次回は六月二十七日(火)午前十時から泉南市立樽井防災コミュニティセンターで開催する予定です。

多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。



みんなで、  
考えるで  
じやない！



泉南市マスコットキャラクター  
せんなんくまじやう  
「泉南熊寺郎」「せんくま」